

研究課題(テーマ)	モーションキャプチャを活用したコンテンツ開発、及び コンテンツを通じた地域交流に関する研究		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	学生団体 POLYGON		磯邊 健太(代表者) (学生団体顧問 唐山英明)
	学生団体 POLYGON 芸術探検家		足立 雄大,山越 拓也,杉山 航基,平 野 碧生,村上 浩輔,村山 あかり 野口 竜平
研究結果の概要			
<p>今回の研究課題では、DX 教育研究センターのモーションキャプチャ設備(写真)と、芸術探検家 野口竜平氏の作品である「蛸みこし」を組み合わせ、複数人体験型のコンテンツを開発しました。</p> <p>本プロジェクトでは、光学式モーションキャプチャ技術を用いて、蛸みこしに取り付けられたマーカーの位置を計測し、その動きに合わせて映像や音響を変えていくような映像・音響コンテンツを制作しました。ここで、リアルタイムでマーカーの形状を認識したり、認識結果をコンピュータグラフィックスに反映させたりするプログラムを開発しました。これらの制作の過程では、これまで人体の動きの計測に利用することが主だった本学の DX 教育研究センターのモーションキャプチャ設備で、物体の動きを正確に計測し、芸術分野に応用できるという知見が得られました。</p>  <p>昨年 9 月に開催された DX 教育研究センターのオープンハウスにおいて、作成したコンテンツの体験会を実施し、学内外の多くの人々の体験・交流の場となっただけでなく、コンテンツの体験する様子は映像作品として記録され、国内外で展示されました。</p> <p>本プロジェクトでは情報分野にとらわれず、芸術探検家の野口竜平氏や、関係する人々との交流・意見交換により、芸術分野に関する知見を学生が得ることができる貴重な機会ともなりました。</p>			
今後の展開			
<p>今回制作したコンテンツ及び、コンテンツを用いた体験会を発展させ、複数人によるレクリエーションの場において、チームワーク向上のためのコンテンツに転用させることが考えられます。また、今後は DX 教育研究センターにおいてメディア・アートのプロジェクトを立ち上げ、他大学とも連携しながら社会参加を促すような新しいアートのあり方を探求していきます。</p>			